

# 地球温暖化対策に関する 福岡県の主な取組（令和8年度）

令和8年5月13日

福岡県環境審議会 地球温暖化対策実行計画専門委員会 事務局

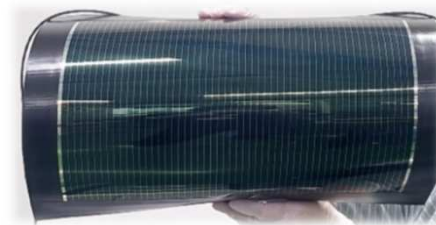
（福岡県 環境部 脱炭素社会推進課）

## ■ 緩和策に関連する主な事業

### ペロブスカイト太陽電池を率先導入 8億1,595万円

(次世代型太陽電池普及促進費・道路における次世代型太陽電池の活用に向けた試験導入費)

- ・ 導入可能性調査の対象を拡大し、県有施設への設置を加速
- ・ 道路施設に試験導入し、活用性を検証



<ペロブスカイト太陽電池>

### GBNet福岡による使用済EVバッテリーの資源循環「福岡モデル」の構築を強化 5,134万円

(EVバッテリー資源循環「福岡モデル」推進費)

- ・ リユース蓄電池・リユース太陽光パネル普及のため、サブスクサービスの事業化を実証
- ・ 県内企業のリユース蓄電池市場への参入に向け、蓄電池製造業者とのマッチングを実施

### 地域共創による脱炭素地域づくりを推進 4,811万円 (地域共創による脱炭素地域づくり推進費)

- ・ 民間企業等と連携して脱炭素化と地域課題の一体的解決に取り組む市町村を支援するため、実現可能性調査への助成や専門家からの助言を実施

### 中小企業の脱炭素化とエネルギーコスト低減を緊急支援 [2月補正] 1億3,930万円

(中小企業脱炭素化緊急支援費)

- ・ 中小企業の省エネ・再エネ設備、蓄電池の導入を支援
- ・ 省エネ・再エネ設備の導入や運用改善の実践事例集を作成

**ブルーカーボン※のクレジット化※を推進 2,399万円** (福岡ブルーカーボン・クレジット化推進費)

- ・ 漁業者による藻場のCO2固定量の円滑な取引を支援するため、CO2算定技術を実用化
- ・ 藻場保全活動の拡大に向け、ウニの効率的な除去手法を検証

※ ブルーカーボン: 海藻などに取り込まれた炭素

※ クレジット化: CO2吸収量を数値化し、売買取引すること。

**響灘沖一般海域への洋上風力発電導入に向けた取組を推進 3,680万円** (洋上風力発電導入促進費)

- ・ 「促進区域」指定に向け、対象区域周辺における船舶実態調査や船舶・漁業関係者との合意形成のための調整を実施

**洋上風力発電の運転・維持管理技術者の育成を支援 750万円**  
(洋上風力発電運転・維持管理技術者育成支援費)

- ・ 高所作業や重量物取扱いなど風力発電特有の運転・維持管理のための専門認証取得を支援

## ■ 適応策に関連する主な事業

暑さに負けない！農業における夏期の高温対策を強化 9,038万円 [2月補正] 1億5,949万円

(暑さに負けない！園芸対策強化費他2事項)

### 【園芸農業】

- ・ハウス内の温度を下げるミスト冷房や天窓換気装置などの施設・機械の導入を支援
- ・異常な高温による果樹の日焼け等を低減する技術開発や花きの安定出荷を可能とする加湿・冷蔵技術の実証

### 【水田農業】

- ・暑さに強い県産米「元気つくし」や「実りつくし」の種子を確保するため、専用乾燥機の導入を支援
- ・高温条件下に対応した水稻・大豆の高収量・高品質生産技術を開発

### 【畜産業】

- ・暑さによる家畜のストレスを軽減するため、スポットクーラーや大型送風機などの設備・機械の導入を支援
- ・遺伝的能力評価を活用した暑熱耐性の高い乳用牛の導入や精液の利用を支援

気候変動をノリ越える！「福岡有明のり」の生産を強化 2,404万円

(気候変動をノリ越える！「福岡有明のり」生産強化費)

- ・「福岡有明のり」の生産強化に向け、海況が良い年に生産した良質な種網を冷凍保管し、越年して利用できる技術を開発



福岡有明のり

Fukuoka Ariake Nori

## 県民への熱中症リスク情報の発信を強化 1,750万円

(熱中症リスク情報発信強化費)

- ・暑さ指数やクーリングシェルター等に関する情報を「まもるくん」やSNSで発信

